漁協通信

第 29 号
R 1. 12. 11 発行

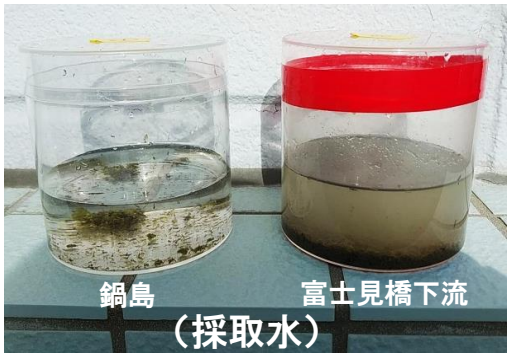
（ホームページ）
大井川（非）漁業協同組合
島田市中溝４丁目 2-5
ﾃﾚﾎﾝｻｰﾋﾞｽ（釣り情報）
（0547）３２−９２４０

１２月９日、アユ流下仔魚調査を実施

不漁が続く大井川の鮎産卵状況を確認するため、夕方～夜にかけて大井川中流・下流の２か所で流下仔魚調査（３年目）を行いました。

11 月、12 月と調査を行った昨年は仔魚がほとんど確認できず「産卵が少ない」結果でした。今年は県の調査に役員が立ち会って採取水を目視しましたが、小さな生物を確認するのみでアユ仔魚は確認することができませんでした。正式な仔魚数は県内水面漁連で確認中ですが、仔魚が約２週間でふ化することを考慮すると「11 月下旬の大井川での産卵は少ない」と言えそうです。

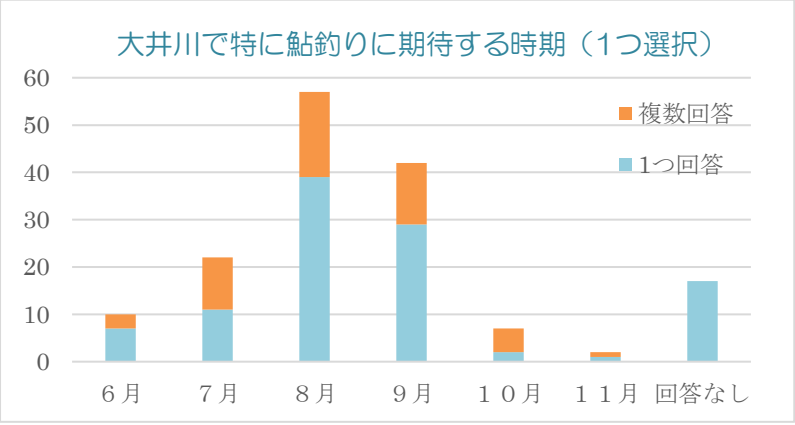
今回は他河川とのスケジュール調整の関係で調査時期が遅れてしまいましたが、来年は当組合主体でもう少し早い時期の調査を考えています。



組合員アンケート２０１９（結果報告）

今年３月～５月にかけ配付したアンケートは組合員１２６人から回答があり、各種事業について様々な評価と率直な意見・要望が寄せられました。

総合評価としては「イベント」「情報発信」が平均以上となりましたが、「2018 年の鮎漁」は危機的な評価となり、大井川の河川環境・水質悪化を心配する声や、不漁が続く大井川を良くするために何か手を打ってほしいとの要望が数多く見られました。また、駐車場やおとり店、釣り情報などサービス面の不足を指摘する意見もあり、これらの課題を今後組合がどのような形で応えていくのか問われる結果となりました。



大井川での友釣りについて

８月～９月の鮎漁に期待する人が多い結果になりました。今回の組合員の要望に応じた川づくり（水況、種苗選定）が求められています。

※複数回答が多く見られたので、色分けして集計しています。